

# 黒目川上流域のビューポイント

## 1 さいかち窪 (小平霊園内)

小平霊園内の雑木林の中にある、黒目川の源流域です。普段は水がない窪地ですが、数年に一度、池や流れが出現します。近年では平成27年(2015年)に7年ぶりに湧水による池が現れました。



◀何年かに一度しか見られない幻の湧水池

## 2 黒目川の最上流域

黒目川の最上流である新青梅街道より下流は、緑地保全の地域として、多くの緑を残しています。この一帯は武蔵野の原風景といえる柳窪の旧集落であり、家の周りを囲う屋敷林や雑木林等が残っています。



多目的トイレ▶

## 3 柳窪天神社付近

柳窪天神参道に沿っての流れは、東京都の「東京の名湧水57選」に選ばれた場所です。周囲はけやきなどの大木に囲まれ、静けさの漂う空間となっています。



▲清らかな流れが参道の脇を流く

## 4 第十小学校付近

第十小学校裏の三方橋から下流には、流れに沿って木道が整備されています。

新青梅街道から、この木道の終わりにある柳橋までの間は「さいかちの道」と名づけられています。



## 5 しんやま親水広場 〈春〉

しんやま親水広場の川土手には、たくさんの桜の木が植えられており、春になると美しい桜が咲き、訪れる方の目を楽しませています。



## しんやま親水広場 〈夏〉

柳橋から下流の宮裏橋までの間は、「しんやま親水広場」です。広場の中ほどには、水面まで降りられる階段がつけられ、水遊びができるようになっています。



◀トイレや案内板が設置され、憩いの場としてさらに人が集まりやすくなった広場

## 6 しんみやまえ親水こみち 氷川神社付近

新所沢街道の宮裏橋の下流に沿ってつくられた遊歩道は、氷川神社の森にむかって続いています。この遊歩道は平成28年度に完成し、公募によって「しんみやまえ親水こみち」と名付けられています。



▲東屋

旧下里村の鎮守である氷川神社の森に沿った黒目川の流れとともに遊歩道を進んでいくと、氷川神社の鳥居の前に出ます。神社の前の新宮前通りに着いたところまでが、遊歩道となります。

